

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	一見ケアができているように見えるが、介助であって介護に至っていない。担当者がついてるとは言っても形骸化し、利用者に焦点が当たっていない。	プライマリーの担当制を見直し、利用者一人ひとりの「その人らしい暮らし」を見つけ、支援する。	①プライマリーの役割を見直し、担当者を付け直す。 ②役割が遂行できるようにチェックシートを作成する ③家族と話したことを記録し、管理者のチェックも入れる	11ヶ月
2	26	「チームでつくる介護計画」はケアの実践者が計画を実践することで利用者の課題を解決できるものであるが、ケアマネにおまかせであり、ケアプランの実践者にならない。毎日同じことの繰り返しになっている。	介護士はケアマネジャーと共に介護計画を立案することで利用者の課題を理解し、ケアプランの推進者となることで「チームでつくる介護計画」を実現する。	①介護職員はケアマネジャーとともに介護計画の作成をする。 ②介護職員はケアマネジャーとともに介護計画について利用者及び家族に説明し、同意を得る。 ③介護者は介護計画の実践者であることを自覚し、介護記録の実践状況の記録を毎日する。 ④介護者はケアマネと共にカンファレンスを開き、介護計画の評価を行う。	9ヶ月
3	35	気候変動による災害が世界各地で増えている。BCPの作成はできたが、実践力が身につけていない。	BCPに基づく訓練を強化し、防災力を身に付け、利用者の命を守る。	①作成したBCPを周知する ②BCPに基づく訓練を2か月に1回実施する ③訓練評価から改善点を見出し、BCPを修正する	7ヶ月
4	1	開設時からの理念を見直し、新しくしているが、理念について職場風土になるまで浸透していない。	職場内のどこの場所・どこの場面においてもあおばらしい風土と感ぜられるように理念を共有化する。	①理念の研修の時期を年間スケジュールに入れる ②申し送り時に理念を唱和する ③3日坊主にならないように、とにかく継続する	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。